



平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月11日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トランスジェニック
コード番号 2342 URL <http://www.transgenic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福永 健司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 船橋 泰

TEL 096-375-7660

定時株主総会開催予定日 平成24年6月22日

有価証券報告書提出予定日 平成24年6月25日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期の連結業績(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期	607	19.4	△127	—	△120	—	△156	—
23年3月期	509	△15.7	△133	—	△144	—	△215	—

(注) 包括利益 24年3月期 △153百万円 (—%) 23年3月期 △214百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
24年3月期	△1,205.97	—	△6.6	△4.7	△21.0
23年3月期	△1,878.15	—	△10.9	△6.5	△26.2

(参考) 持分法投資損益 24年3月期 △0百万円 23年3月期 △0百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期	2,502	2,297	91.3	17,632.02
23年3月期	2,608	2,450	93.5	18,820.93

(参考) 自己資本 24年3月期 2,284百万円 23年3月期 2,438百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年3月期	△200	△394	0	1,398
23年3月期	△183	696	1,075	1,993

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	910	49.7	20	—	22	—	14	—	108.05

当社は年次で業績管理を行っているため、第2四半期累計期間の予想値はありません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

24年3月期	129,578 株	23年3月期	129,575 株
24年3月期	14 株	23年3月期	14 株
24年3月期	129,563 株	23年3月期	114,727 株

(参考)個別業績の概要

1. 平成24年3月期の個別業績(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期	540	23.3	△150	—	△128	—	△161	—
23年3月期	438	31.2	△141	—	△136	—	△249	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期	△1,248.77	—
23年3月期	△2,176.04	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
24年3月期	2,490		2,287		91.5	17,594.06		
23年3月期	2,601		2,447		93.7	18,825.77		

(参考) 自己資本 24年3月期 2,279百万円 23年3月期 2,439百万円

2. 平成25年3月期の個別業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	832	54.1	10	—	6	—	46.31

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提及び業績見通しのご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 経営方針	5
(1) 会社の経営の基本方針	5
(2) 目標とする経営指標	5
(3) 中長期的な会社の経営戦略	5
(4) 会社の対処すべき課題	5
(5) その他、会社の経営上重要な事項	5
3. 連結財務諸表	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 継続企業の前提に関する注記	14
(6) 会計方針の変更	14
(7) 表示方法の変更	14
(8) 追加情報	14
(9) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	19
4. 個別財務諸表	20
(1) 貸借対照表	20
(2) 損益計算書	22
(3) 株主資本等変動計算書	24
(4) 継続企業の前提に関する注記	26

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

① 当期の経営成績

当連結会計年度における創薬支援事業市場は、東日本大震災の影響による公的研究予算執行の不透明感から厳しい状況にありました。また、製薬企業においても、大型医薬品の特許期間満了、薬価低下等経営環境の厳しい状況が継続する中、収益確保のための経営戦略再構築や企業再編が進んでおります。

このような状況の下、当社グループは主力事業である遺伝子破壊マウス作製事業において、生産工程の改良により生産効率を向上させ、さらに、非臨床試験受託事業や遺伝子解析事業などの新規事業を開始し売上高を伸ばしました。研究開発につきましては、平成23年6月に大日本住友製薬(株)及び東京大学と「メタボリックシンドロームマーカー候補タンパクA I M」に関する共同研究契約を締結しました。知的財産戦略につきましては、「GANP[®]マウス技術」に関する特許が米国・中国・香港にて成立いたしました。設備投資につきましては、神戸研究所内に建設を進めておりました新実験施設が平成24年2月に竣工し、今後の収益拡大及び業績改善を加速させるべく稼働いたします。

以上の結果、当連結会計年度の当社グループの売上高は607,985千円(前期509,100千円)、営業損失は127,650千円(前期133,161千円)、経常損失は120,390千円(前期144,288千円)、当期純損失は156,248千円(前期215,474千円)と業績を改善いたしました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

i 遺伝子破壊マウス事業

遺伝子破壊マウス作製受託事業の生産効率の向上や非臨床試験受託事業の開始により、売上高は400,354千円(前期306,519千円)となりました。しかしながら非臨床試験受託事業の開始に伴う初期コストが負担となり、営業利益は49,529千円(前期54,956千円)となりました。

ii 抗体事業

抗体製品販売、抗体作製受託ともに計画を下回り、売上高は84,357千円(前期77,750千円)となりました。また、抗体製造の一部を外部へ委託したことなどからコスト増となり、営業損失は10,154千円(前期は営業利益6,291千円)となりました。

iii 試薬販売事業

サイトカイン販売が伸び悩み、売上高は123,274千円(前期124,830千円)となったものの、販管費を圧縮したことから営業利益は29,585千円(前期22,855千円)となりました。

② 次期の見通し

遺伝子破壊マウス事業につきましては、引き続き技術改良を進め、さらなる生産効率化を図ります。また、モデルマウスの発売や当期より開始した非臨床試験受託事業及び遺伝子解析事業の本格的展開により収益増加を目指します。

抗体事業及び試薬販売事業につきましては、新製品の発売や当社の有するバイオマーカーの収益化により業績改善を図ります。

以上により、平成25年3月期の見通しにつきましては、売上高910百万円(当期比49.7%増)、営業利益20百万円(当期は営業損失127百万円)、経常利益22百万円(当期は経常損失120百万円)、当期純利益14百万円(当期は当期純損失156百万円)となり、増収増益の見込みであります。

また、当社の研究開発における成果が得られた際、あるいは業績に与える事象が生じた際には、情報開示を行います。

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の資産につきましては、流動資産1,663,867千円（前連結会計年度末比557,984千円減少）、固定資産838,514千円（同451,396千円増加）、総資産合計2,502,381千円（同106,587千円減少）となりました。

負債につきましては、流動負債184,321千円（同46,723千円増加）、固定負債20,739千円（同65千円増加）となりました。

純資産につきましては、純資産合計2,297,321千円（同153,376千円減少）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ594,589千円減少し、1,398,536千円となりました。

当連結会計年度の各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは△200,553千円（前年同期は△183,366千円）となりました。この主な要因は税金等調整前当期純損失150,290千円に仕入債務の減少額51,837千円を調整したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出384,131千円等により、投資活動によるキャッシュ・フローは△394,103千円（前年同期は696,743千円）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

新株予約権の行使による株式の発行による収入68千円により、財務活動によるキャッシュ・フローは68千円（前年同期は1,075,952千円）となりました。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期
自己資本比率（％）	94.1	93.8	84.1	93.5	91.3
時価ベースの自己資本比率（％）	64.9	63.5	91.2	378.4	265.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	—	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注3）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

（注4）有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

（注5）キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため、記載しておりません。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主に対する利益還元を重要な経営課題として認識しておりますが、平成24年3月期においても配当可能利益は計上されておらず、設立以来、無配当であります。当面は、早期の黒字化に取り組み、累積損失の解消を図っていく方針であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、継続的な営業損失の発生及び営業キャッシュ・フローのマイナスといった、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。当該重要事象を解消するため、当連結会計年度におきまして、主力事業の生産効率化や新規事業の開始などにより収益を伸ばし業績を改善しました。

今後も、収益基盤の強化により、さらなる業績の改善を図ります。資金につきましても、当連結会計年度末時点での現金及び預金と有価証券の合計額は1,398,536千円であり、財務面に支障はないものと考えております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載には至りませんでした。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針、(2) 目標とする経営指標、(3) 中長期的な会社の経営戦略

平成19年3月期決算短信（平成19年5月15日開示）により開示を行った内容から重要な変更がないため開示を省略しております。

当該決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ)

<http://www.transgenic.co.jp/jp/ir/data/pdf/20070515.pdf>

(東京証券取引所ホームページ（上場会社検索ページ）)

<http://www.tse.or.jp/listing/index.html>

(4) 会社の対処すべき課題

当社グループの対処すべき主要な課題等は以下のとおりであります。

① 今後の事業展開について

i 遺伝子破壊マウス事業について

当事業の業績向上のためには、利益率の高い「TG Resource Bank®」の営業強化、新規モデルマウスの導入が必要であると認識しております。さらに、平成22年12月に熊本大学と締結した「ヒト化マウスの開発」に関する共同研究を進め、汎用性の高い新しい治療法の開発を可能とする病態モデルの確立を目指します。また、受託事業においては、当期に完成した新実験棟においてマウス作製受託や非臨床試験受託を本稼働させ収益向上を図ります。平成24年3月に譲り受けた遺伝子解析事業につきましては、新規顧客獲得による受注拡大を目指します。

ii 抗体事業

当社の有する各種バイオマーカーの収益化を図るため、国内外の企業や公的研究機関との業務提携や共同研究を積極的に進めることが重要であると考えております。また、尿中がんマーカーや唾液がんマーカーに続く、バイオマーカーの探索に取り組んでおります。

iii 試薬販売事業

研究用試薬販売（輸入抗体製品、サイトカイン）の取扱品目数の拡大を図ります。また、大口顧客を獲得すべく営業に注力いたします。

② 知的財産戦略について

当社グループは、研究機関との共同研究の中で得られたシーズを付加価値の高い技術や知的財産に育て、これらを製薬企業や診断薬企業へライセンス許諾しております。当社グループ特許の事業への貢献度は高く、保有特許の極めて高い実施率を保っております。今後、有益な特許のライセンスイン、さらなる積極的なライセンスアウトを通じて早期収益化を図ります。また、事業の優位性を図るべく、将来のマーケティングを見据えた特許網の構築、より価値のある製品をカバーする特許とすべく、中長期的な知財戦略を実行してまいります。

(5) その他、会社の経営上重要な事項

該当事項はありません。

3. 連結財務諸表
 (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	593,125	398,536
受取手形及び売掛金	180,217	192,859
有価証券	1,400,000	1,000,000
商品及び製品	12,011	19,016
仕掛品	4,723	5,999
原材料及び貯蔵品	23,764	10,397
その他	8,333	37,563
貸倒引当金	△325	△506
流動資産合計	2,221,852	1,663,867
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	452,145	452,145
減価償却累計額	△141,728	△159,120
建物及び構築物(純額)	310,417	293,025
機械装置及び運搬具	67,541	92,041
減価償却累計額	△67,541	△67,541
機械装置及び運搬具(純額)	—	24,500
工具、器具及び備品	183,725	247,130
減価償却累計額	△183,725	△185,177
工具、器具及び備品(純額)	—	61,952
建設仮勘定	—	366,250
有形固定資産合計	310,417	745,729
無形固定資産		
のれん	—	12,100
ソフトウェア	883	683
無形固定資産合計	883	12,783
投資その他の資産		
投資有価証券	28,261	24,621
長期貸付金	13,573	12,078
その他	33,981	43,300
投資その他の資産合計	75,816	80,001
固定資産合計	387,117	838,514
資産合計	2,608,969	2,502,381

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	54,481	2,643
未払金	31,686	139,159
未払法人税等	11,485	11,838
賞与引当金	6,861	6,131
受注損失引当金	6,761	466
その他	26,321	24,081
流動負債合計	137,598	184,321
固定負債		
繰延税金負債	4,689	4,612
資産除去債務	15,768	16,126
長期リース資産減損勘定	214	—
固定負債合計	20,673	20,739
負債合計	158,271	205,060
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,404,211	5,404,263
資本剰余金	546,691	546,743
利益剰余金	△3,512,101	△3,668,350
自己株式	△1,782	△1,782
株主資本合計	2,437,018	2,280,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,440	3,601
その他の包括利益累計額合計	1,440	3,601
新株予約権	8,348	8,312
少数株主持分	3,890	4,533
純資産合計	2,450,697	2,297,321
負債純資産合計	2,608,969	2,502,381

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	509,100	607,985
売上原価	271,666	380,063
売上総利益	237,433	227,922
販売費及び一般管理費	370,595	355,573
営業損失(△)	△133,161	△127,650
営業外収益		
受取利息	2,304	3,717
受取配当金	103	116
為替差益	610	—
補助金収入	—	2,941
保険解約返戻金	—	1,240
その他	1,907	143
営業外収益合計	4,927	8,159
営業外費用		
株式交付費	6,860	—
新株予約権発行費	8,518	—
為替差損	—	311
投資事業組合運用損	46	—
持分法による投資損失	624	585
その他	4	2
営業外費用合計	16,053	898
経常損失(△)	△144,288	△120,390
特別利益		
投資有価証券売却益	106,250	—
特別利益合計	106,250	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	6,000
のれん償却額	165,604	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,448	—
事業所移転費用	—	23,900
特別損失合計	169,052	29,900
税金等調整前当期純損失(△)	△207,091	△150,290
法人税、住民税及び事業税	3,369	5,997
法人税等調整額	4,689	△682
法人税等合計	8,059	5,315
少数株主損益調整前当期純損失(△)	△215,150	△155,605
少数株主利益	323	642
当期純損失(△)	△215,474	△156,248

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
少数株主損益調整前当期純損失 (△)	△215,150	△155,605
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	722	2,160
その他の包括利益合計	722	2,160
包括利益	△214,427	△153,445
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△214,751	△154,088
少数株主に係る包括利益	323	642

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	4,855,225	5,404,211
当期変動額		
新株の発行(新株予約権の行使)	548,986	52
当期変動額合計	548,986	52
当期末残高	5,404,211	5,404,263
資本剰余金		
当期首残高	—	546,691
当期変動額		
新株の発行(新株予約権の行使)	546,691	52
当期変動額合計	546,691	52
当期末残高	546,691	546,743
利益剰余金		
当期首残高	△3,337,224	△3,512,101
当期変動額		
当期純損失(△)	△215,474	△156,248
連結範囲の変動	40,596	—
当期変動額合計	△174,877	△156,248
当期末残高	△3,512,101	△3,668,350
自己株式		
当期首残高	△1,782	△1,782
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	△1,782	△1,782
株主資本合計		
当期首残高	1,516,218	2,437,018
当期変動額		
新株の発行(新株予約権の行使)	1,095,677	104
当期純損失(△)	△215,474	△156,248
連結範囲の変動	40,596	—
当期変動額合計	920,799	△156,144
当期末残高	2,437,018	2,280,874

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	717	1,440
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	722	2,160
当期変動額合計	722	2,160
当期末残高	1,440	3,601
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	717	1,440
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	722	2,160
当期変動額合計	722	2,160
当期末残高	1,440	3,601
新株予約権		
当期首残高	10,537	8,348
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△2,189	△35
当期変動額合計	△2,189	△35
当期末残高	8,348	8,312
少数株主持分		
当期首残高	3,567	3,890
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	323	642
当期変動額合計	323	642
当期末残高	3,890	4,533
純資産合計		
当期首残高	1,531,040	2,450,697
当期変動額		
新株の発行（新株予約権の行使）	1,095,677	104
当期純損失（△）	△215,474	△156,248
連結範囲の変動	40,596	—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△1,142	2,767
当期変動額合計	919,656	△153,376
当期末残高	2,450,697	2,297,321

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△207,091	△150,290
減価償却費	19,282	20,094
のれん償却額	176,584	205
株式報酬費用	2,157	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	203	181
受取利息及び受取配当金	△2,408	△3,833
持分法による投資損益 (△は益)	624	585
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,448	—
保険解約損益 (△は益)	—	△1,240
株式交付費	6,860	—
新株予約権発行費	8,518	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△106,250	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	6,000
売上債権の増減額 (△は増加)	△130,284	△12,642
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△12,717	5,087
仕入債務の増減額 (△は減少)	48,989	△51,837
未払金の増減額 (△は減少)	7,152	33,049
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△3,695	△19,373
その他の資産の増減額 (△は増加)	8,430	△15,612
その他の負債の増減額 (△は減少)	△1,747	△11,024
小計	△181,943	△200,653
利息及び配当金の受取額	2,291	3,842
法人税等の支払額	△3,714	△3,742
営業活動によるキャッシュ・フロー	△183,366	△200,553
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△900,000	△1,200,000
有価証券の償還による収入	1,500,000	1,200,000
有形固定資産の取得による支出	—	△384,131
有形固定資産の売却による収入	498	—
無形固定資産の取得による支出	△1,000	—
投資有価証券の取得による支出	△6,000	—
投資有価証券の売却による収入	106,250	—
事業譲受による支出	—	△12,500
貸付金の回収による収入	1,096	1,120
保険積立金の解約による収入	—	1,240
敷金の差入による支出	△6,491	—
敷金の回収による収入	1,972	—
その他	417	167
投資活動によるキャッシュ・フロー	696,743	△394,103

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,065,110	68
新株予約権の発行による収入	10,841	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,075,952	68
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,589,328	△594,589
現金及び現金同等物の期首残高	446,357	1,993,125
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△42,560	—
現金及び現金同等物の期末残高	1,993,125	1,398,536

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 会計方針の変更

(1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用)

当連結会計年度より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、1株当たり情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

(7) 表示方法の変更

当連結会計年度
(自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日)

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他の資産の増減額」に含めておりました「長期前払費用の増減額」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他の資産の増減額」に表示していた4,734千円は、「長期前払費用の増減額」△3,695円、「その他の資産の増減額」8,430千円として組み替えております。

(8) 追加情報

当連結会計年度
(自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当連結会計年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(9) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービス別のセグメントから構成されており、「遺伝子破壊マウス事業」、「抗体事業」及び「試薬販売事業」の3つを報告セグメントとしております。

「遺伝子破壊マウス事業」は、TG Resource Bank®等の遺伝子情報の著作権許諾や遺伝子破壊マウス作製受託を行っております。「抗体事業」は、抗体製品販売、抗体作製受託、GANP®マウスのライセンスアウト、診断薬に向けた腫瘍マーカーの開発を行っております。「試薬販売事業」は、ライフサイエンス研究支援のための研究用試薬の仕入・販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	遺伝子破壊 マウス事業	抗体事業	試薬販売事業			
売上高						
外部顧客への売上高	306,519	77,750	124,830	509,100	—	509,100
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	306,519	77,750	124,830	509,100	—	509,100
セグメント利益 又は損失(△)	54,956	6,291	22,855	84,104	△217,266	△133,161
セグメント資産	308,173	92,280	59,524	459,978	2,148,990	2,608,969
その他の項目						
減価償却費	9,860	3,615	986	14,461	4,820	19,282
のれんの償却額 (注) 3	—	—	10,979	10,979	—	10,979
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	—	—	—	—	1,000	1,000

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、主に当社グループにおける運用資金(現金及び預金、有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。
 - (3) その他の項目の調整額は、主に管理部門に係るものであります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業損失(△)と調整を行っております。
3. その他の項目ののれんの償却額に記載しているものの他、期末未償却残高の一括償却を行っております。

当連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	遺伝子破壊 マウス事業	抗体事業	試薬販売事業			
売上高						
外部顧客への売上高	400,354	84,357	123,274	607,985	—	607,985
セグメント間の内部売上 高又は振替高						
計	400,354	84,357	123,274	607,985	—	607,985
セグメント利益 又は損失（△）	49,529	△10,154	29,585	68,960	△196,610	△127,650
セグメント資産	806,703	132,166	72,611	1,011,481	1,490,899	2,502,381
その他の項目						
減価償却費	12,417	6,257	1,219	19,894	200	20,094
のれんの償却額	205	—	—	205	—	205
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	455,205	—	—	455,205	—	455,205

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失（△）の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、主に当社グループにおける運用資金（現金及び預金、有価証券）、長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門に係る資産等であります。
 - (3) その他の項目の調整額は、主に管理部門に係るものであります。
2. セグメント利益又は損失（△）は、連結財務諸表の営業損失（△）と調整を行っております。

b. 関連情報

I 前連結会計年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
国立大学法人熊本大学	58,984	遺伝子破壊マウス事業及び抗体事業
コスモ・バイオ株式会社	52,692	抗体事業及び試薬販売事業

II 当連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める顧客がないため、記載を省略しております。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

該当事項はありません。

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

(単位:千円)

	遺伝子破壊 マウス事業	抗体事業	試薬販売事業	合計
当期償却額	—	—	176,584	176,584
当期末残高	—	—	—	—

当連結会計年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

(単位:千円)

	遺伝子破壊 マウス事業	抗体事業	試薬販売事業	合計
当期償却額	205	—	—	205
当期末残高	12,100	—	—	12,100

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
1株当たり純資産額 18,820円93銭	1株当たり純資産額 17,632円02銭
1株当たり当期純損失金額(△) △1,878円15銭	1株当たり当期純損失金額(△) △1,205円97銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。	同左

(注) 1. 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
当期純損失 (△) (千円)	△215,474	△156,248
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失 (△) (千円)	△215,474	△156,248
普通株式の期中平均株式数 (株)	114,727	129,563
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	① 平成13年改正旧商法第280条ノ20及び第280条ノ21の規定に基づく新株予約権 株主総会特別決議日 平成14年5月30日 (新株予約権 338個 目的となる株式の数 1,014株) ② 会社法に基づき発行した新株予約権 株主総会決議日 平成20年6月25日 (新株予約権 701個 目的となる株式の数 701株)	① 平成13年改正旧商法第280条ノ20及び第280条ノ21の規定に基づく新株予約権 株主総会特別決議日 平成14年5月30日 (新株予約権 338個 目的となる株式の数 1,014株) ② 会社法に基づき発行した新株予約権 株主総会決議日 平成20年6月25日 (新株予約権 698個 目的となる株式の数 698株)

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (平成23年3月31日)	当連結会計年度末 (平成24年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	2,450,697	2,297,321
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	12,238	12,846
(うち新株予約権)	(8,348)	(8,312)
(うち少数株主持分)	(3,890)	(4,533)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	2,438,459	2,284,475
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	129,561	129,564

(会計方針の変更)

当連結会計年度より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、この変更による影響はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表
(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当事業年度 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	576,449	383,429
受取手形	10,839	—
売掛金	146,156	164,914
有価証券	1,400,000	1,000,000
商品及び製品	8,787	16,275
仕掛品	4,723	5,999
原材料及び貯蔵品	23,764	10,397
前払費用	5,564	15,619
未収消費税等	—	19,973
その他	8,410	5,626
貸倒引当金	△313	△160
流動資産合計	2,184,384	1,622,074
固定資産		
有形固定資産		
建物	425,782	425,782
減価償却累計額	△126,317	△142,154
建物(純額)	299,464	283,628
構築物	26,363	26,363
減価償却累計額	△15,410	△16,965
構築物(純額)	10,953	9,397
機械及び装置	67,541	92,041
減価償却累計額	△67,541	△67,541
機械及び装置(純額)	—	24,500
工具、器具及び備品	183,725	247,130
減価償却累計額	△183,725	△185,177
工具、器具及び備品(純額)	—	61,952
建設仮勘定	—	366,250
有形固定資産合計	310,417	745,729
無形固定資産		
のれん	—	12,100
ソフトウェア	883	683
無形固定資産合計	883	12,783
投資その他の資産		
投資有価証券	28,025	24,621
関係会社株式	30,696	29,836
関係会社長期貸付金	13,573	12,428
差入保証金	24,484	24,484
長期前払費用	1,249	10,568
その他	8,247	8,247
貸倒引当金	—	△349
投資その他の資産合計	106,277	109,837
固定資産合計	417,578	868,350
資産合計	2,601,962	2,490,425

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当事業年度 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	53,378	2,542
未払金	31,441	138,906
未払費用	13,329	19,954
未払法人税等	10,738	10,046
前受金	6,248	1,575
賞与引当金	6,625	6,131
受注損失引当金	6,761	466
その他	5,331	2,194
流動負債合計	133,854	181,817
固定負債		
繰延税金負債	4,689	4,612
資産除去債務	15,768	16,126
長期リース資産減損勘定	214	—
固定負債合計	20,673	20,739
負債合計	154,528	202,556
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,404,211	5,404,263
資本剰余金		
資本準備金	546,691	546,743
資本剰余金合計	546,691	546,743
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△3,511,474	△3,673,269
利益剰余金合計	△3,511,474	△3,673,269
自己株式	△1,782	△1,782
株主資本合計	2,437,645	2,275,955
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,440	3,601
評価・換算差額等合計	1,440	3,601
新株予約権	8,348	8,312
純資産合計	2,447,434	2,287,868
負債純資産合計	2,601,962	2,490,425

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
売上高		
製品売上高	332,230	456,765
商品売上高	105,924	83,496
売上高合計	438,155	540,262
売上原価		
製品売上原価	182,401	303,297
商品売上原価		
商品期首たな卸高	6,652	8,787
当期商品仕入高	59,878	48,718
商品他勘定振替高	—	1
商品期末たな卸高	8,787	19,773
商品評価損	—	3,498
商品売上原価	57,743	41,229
売上原価合計	240,145	344,527
売上総利益	198,010	195,735
販売費及び一般管理費		
役員報酬	30,058	38,118
給料及び手当	74,192	69,379
法定福利費	13,197	12,841
支払手数料	25,441	29,831
研究開発費	51,161	45,338
旅費及び交通費	17,144	21,212
地代家賃	5,715	12,699
支払報酬	30,128	35,422
減価償却費	8,089	7,719
租税公課	15,102	15,355
その他	69,453	57,842
販売費及び一般管理費合計	339,685	345,761
営業損失(△)	△141,675	△150,025
営業外収益		
受取利息	498	404
有価証券利息	1,799	3,310
受取配当金	103	116
為替差益	624	—
補助金収入	—	2,941
受取手数料	15,935	14,520
その他	1,904	1,497
営業外収益合計	20,867	22,790

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
営業外費用		
為替差損	—	297
株式交付費	6,860	—
新株予約権発行費	8,518	—
貸倒引当金繰入額	—	349
投資事業組合運用損	46	—
その他	4	862
営業外費用合計	15,428	1,510
経常損失(△)	△136,236	△128,745
特別利益		
投資有価証券売却益	106,250	—
特別利益合計	106,250	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	6,000
関係会社株式評価損	208,903	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,448	—
事業所移転費用	—	23,900
特別損失合計	212,351	29,900
税引前当期純損失(△)	△242,338	△158,645
法人税、住民税及び事業税	2,622	3,832
法人税等調整額	4,689	△682
法人税等合計	7,311	3,149
当期純損失(△)	△249,650	△161,794

(3) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	4,855,225	5,404,211
当期変動額		
新株の発行(新株予約権の行使)	548,986	52
当期変動額合計	548,986	52
当期末残高	5,404,211	5,404,263
資本剰余金		
資本準備金		
当期首残高	—	546,691
当期変動額		
新株の発行(新株予約権の行使)	546,691	52
当期変動額合計	546,691	52
当期末残高	546,691	546,743
資本剰余金合計		
当期首残高	—	546,691
当期変動額		
新株の発行(新株予約権の行使)	546,691	52
当期変動額合計	546,691	52
当期末残高	546,691	546,743
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
当期首残高	△3,261,824	△3,511,474
当期変動額		
当期純損失(△)	△249,650	△161,794
当期変動額合計	△249,650	△161,794
当期末残高	△3,511,474	△3,673,269
利益剰余金合計		
当期首残高	△3,261,824	△3,511,474
当期変動額		
当期純損失(△)	△249,650	△161,794
当期変動額合計	△249,650	△161,794
当期末残高	△3,511,474	△3,673,269
自己株式		
当期首残高	△1,782	△1,782
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	△1,782	△1,782

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
株主資本合計		
当期首残高	1,591,619	2,437,645
当期変動額		
新株の発行(新株予約権の行使)	1,095,677	104
当期純損失(△)	△249,650	△161,794
当期変動額合計	846,026	△161,690
当期末残高	2,437,645	2,275,955
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	717	1,440
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	722	2,160
当期変動額合計	722	2,160
当期末残高	1,440	3,601
評価・換算差額等合計		
当期首残高	717	1,440
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	722	2,160
当期変動額合計	722	2,160
当期末残高	1,440	3,601
新株予約権		
当期首残高	10,537	8,348
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,189	△35
当期変動額合計	△2,189	△35
当期末残高	8,348	8,312
純資産合計		
当期首残高	1,602,873	2,447,434
当期変動額		
新株の発行(新株予約権の行使)	1,095,677	104
当期純損失(△)	△249,650	△161,794
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,466	2,124
当期変動額合計	844,560	△159,565
当期末残高	2,447,434	2,287,868

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。